

競技注意事項

1. 本大会は、2022年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。
2. 感染症対策として
 - (1) 大会前日と当日の2日間連続で腋下体温が37.5度を超える場合の参加・観戦はできない。（自宅で検温）
 - (2) 大会当日の朝に、腋下体温37.5度を超える場合の参加・観戦はできない。（自宅で検温）
 - (3) 大会前日と当日の腋下体温を団体責任者に必ず報告する。
 - (4) 競技中やウォーミングアップやダウンの時以外はマスク着用を心がける。
 - (5) 競技場内や競技中は密閉・密集・マイクロ飛沫リスク防止のため、近距離での会話や大声での発声を避ける。（感染防止のため、スタンドやテント外でも同様の対応をとる。）隣との間隔を約1mあける。
3. ウォーミングアップについて
 - (1) ウォーミングアップやダウンは、団体責任者及び保護者立ち会いのもと行う。
 - (2) 競技開始20分前まで本競技場を使用しウォーミングアップを行う事が出来る。
 - (3) 競技中のウォーミングアップは競技場周辺、本競技場バックストレートを使用しウォーミングアップを行う事が出来る。但し、直線種目競技中に限る。周回競技中は禁止。
 - (4) 室内練習場は使用禁止とする。
4. 招集について
 - (1) 招集場所にて出場種目の招集完了時刻までに、招集者係のチェックを受ける。
→ 各競技開始場所で最終コールを受ける。招集所待機は行わない。
 - (2) トラック競技に出場する競技者の腰ゼッケンは、招集場所での点呼時に受け取る。
返却は、ゴール後に自分で腰ゼッケンを外し回収かごに入れる。
 - (3) 出発点や試技場での競技者待機方法は、競技10分～15分前まで集合する。（フィールド競技は練習時間等があるのでプログラムに示された時間までに集合する）選手同士は前後左右の間隔を約1m以上開け、審判の指示、出場確認をうける。
2. 競技について
 - (1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
 - (2) トラック競技のスタート時、他の競技者の邪魔になるような発声をしてはならない。
 - (3) リレー競技について
 - ① リレーオーダー用紙は当日招集所で受け取ること。
 - ② リレーオーダーは1組の招集完了時刻60分前までに所定の用紙に正確に記入の上、そのチームの監督が競技者係に1部提出する。
 - ③ リレーオーダー用紙は準決勝・決勝においても同様に提出すること。
 - ④ チームの出場者は同一のユニフォームを着用すること。

(4) 欠場者のレーンはそのままあける。

(5) 長距離種目で競技進行上大幅に遅れた選手は審判長の権限でレースを中止させることがある。

3. 用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。但し、やり及び棒高跳用ポールは検定の上個人所有物の使用を認める。個人のやりは競技終了後返却する。検定場所はスタート付近器具庫前

(2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。

4. 競技用スパイクピンについて

本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは9mm以下とする。

走高跳及びやり投の場合は、12mmを超えてはならない。

5. その他

(1) 団体での控え場所は芝スタンドとする。

(2) スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。

(3) 競技場（練習場も含む）に商社名、商品名のついたものを持ち込むことはできない。詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規定」に準じる。

(4) 記録の証明を希望する競技者は、記録情報室に300円を添えて申出をし、30分後に受け取ること。

(5) 抗議申立書は競技規則TR8（国内競技会）によって総務に提出する。

(6) 競技会場内で撮影された競技写真の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。

(7) 競技会場での写真撮影は、許可された報道カメラマンのみとする。

(8) 個人情報の本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。

(9) 競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。

(10) 記録速報掲示はしません。沖縄陸上競技協会ホームページに掲載する。
又は当日QRコードを案内します。

(11) ゴミは、全て持ち帰る。

(12) 大切な連絡は放送をするので、しっかり聞き対応する。